

令和6年度重点項目 令和5年度実績①

氏名:

			5年度			6年度	担当課
事業項目		事業概要	取組と実績	担当課評価	評価の内容	取組に対する今後の課題	
1	全ての審議会等における男女それぞれの構成比率を40%以上に促進	市の政策・方針・決定の場において、女性の参画を推進するため、全ての審議会等において、委員の男女それぞれの構成比率40%以上を目指します。	委員選任時に、女性委員が40%以上となるよう主管課へ呼びかけ、40%未満となっている機関については、登用が難しい理由等を確認し、是正を促した。 （女性委員の割合（全体）：36.07% ※令和5年度末時点） 附属機関等委員の男女比率の適正化に向け、令和4年度の専門アドバイザーによる助言を踏まえ、委員選任時における留意点を整理し、庁内各課へ女性委員の登用についての通知を発出した。また、庁議及び課長会議にて女性委員の登用について改めて案内するほか、各附属機関等の女性比率を共有するようにした。 委員の選出にあたっては必要に応じて女性人財バンクを活用することにより女性委員の登用に努めた。	2	令和4年度実績より女性委員の割合は増加しているものの、目標値である40%は達成できていないため。	委員の女性比率を区分別にみると、公募市民では約5割であるのに対し、団体等代表では約3割、学識経験者では約3割であった。 昨年度は、団体等代表者の女性比率は約4割、学識経験者は約3割であったことから女性比率が減少している。規則等で委員の職業が決まっている「当て職」や指定の団体に選出依頼を行う場合について、そもそも依頼先に女性がいらない・少ないことにより、女性比率4割以上となっていない。 各団体等における管理的立場等としての女性の活躍が進んでいくことが、本取組の目標達成に寄与するものと考えられることから、引き続き、これらの取組を一体のものとして進めていく必要がある。	女性委員の積極的な登用を図るべく、引き続き職員への女性委員の登用について、規則等の変更も含めて周知徹底を行うとともに、目標値達成に向けた具体的な取組について、検討を進める。

【参考】昨年度回答

			4年度			5年度	
			取組と実績	担当課評価	評価の内容	取組に対する今後の課題	計画及び目標
			委員選任時に、女性委員が40%以上となるよう主管課へ呼びかけ、40%未満となっている機関については、登用が難しい理由等を確認し、是正を促した。 （女性委員の割合（全体）：33.85%） 附属機関等委員の男女比率の適正化に向け、専門アドバイザーによる助言を踏まえ、委員選任時における留意点を整理し、庁内各課へ女性委員の登用についての通知を発出した。また、庁議及び課長会議にて女性委員の登用について改めて案内するほか、各附属機関等の女性比率を共有するようにした。 委員の選出にあたっては必要に応じて女性人財バンクを活用することにより女性委員の登用に努めた。	2	令和3年度実績より女性委員の割合は増加したものの、目標値である40%は達成できていないため。	委員の女性比率を区分別にみると、公募市民では約7割であるのに対し、団体等代表では約4割、学識経験者では約3割であった。 昨年度は、団体等代表者の女性比率は約3割、学識経験者は約2割であったことから女性比率が増加している一方で、規則等で委員の職業が決まっている「当て職」や指定の団体に選出依頼を行う場合について、そもそも依頼先に女性がいらない・少ないことにより、女性比率4割以上となっていない。 各団体等における管理的立場等としての女性の活躍が進んでいくことが、本取組の目標達成に寄与するものと考えられることから、引き続き、これらの取組を一体のものとして進めていく必要がある。	女性委員の積極的な登用を図るべく、引き続き職員への周知徹底を行うとともに、昨年度行われた専門アドバイザーによる支援を踏まえ、目標値達成に向けた具体的な取組について検討を進める。

第三者 評価欄(A～E)	判定理由及び改善策等の提言

【第三者評価 基準】

- A…施策は非常に良好に進展している（事業概要・目標・計画以上に施策を実施している）
B…施策は、良好に進展している（事業概要・目標・計画どおり施策を実施している）
C…現状維持（一部事業概要・目標・計画どおり実施していないが、達成に向け努力している）
D…施策がやや後退している（一部事業概要・目標・計画どおり実施していない）
E…後退している（事業概要・目標・計画どおり実施していない）

令和6年度重点項目評価表（令和5年度実績）

氏名:

			5年度				6年度	
事業項目		事業概要	取組と実績	担当課評価	評価の内容	取組に対する今後の課題	計画及び目標	担当課
17	事業所に対する女性活躍促進の積極的な働きかけ	事業所における男性中心の固定化した価値観や仕事のやり方を見直し、女性が活躍できるような職場の意識改革を促進するため、関係機関と連携し積極的な働きかけを行います。また、取組内容を事業所に周知し、働きやすい職場環境づくりを進めます。	国や東京都の作成する就労に関するセミナーのパンフレットを公共施設や関係機関に配布した。	3	パンフレットの配布によりセミナー等の周知を行ったため。	特になし。	国や東京都の作成するパンフレットを配布し、周知を行う。また、多様性社会推進課と共催で、男女共同参画にかかる講座を実施する。	産業振興課

【参考】昨年度回答

4年度							5年度	
取組と実績			担当課評価	評価の内容	取組に対する今後の課題	計画及び目標		
府中市勤労者福祉振興公社と協働（公社はひばりで周知）で、健康経営の周知のため、経営者向け、従業員向けの健康維持増進セミナーを1回（2回予定であったが、1回はコロナの影響により中止。）実施し15人の参加があった。			3	パンフレットの配布によりセミナー等の周知を行ったため。	パンフレットの配布枚数・配布場所について記録を行っていなかった。講座等の実施については、セミナー開催のノウハウがないため、実施できていなかったが、今年度、多様性社会推進課や各所団体と連携しながら「男女共同参画」に対する講座を実施し、意識啓発を図ってきたい。	令和5年11月10日及び12月15日に多様性社会推進課及びむさし府中商工会議所及び公益財団法人府中市勤労者福祉振興公社と連携し、市内中小企業経営者・人事担当者向けに男女共同参画に関する意識啓発セミナー【企業価値を生み出す働き方改革】を実施予定。		

第三者 評価欄(A～E)	判定理由及び改善策等の提言

- 【第三者評価 基準】
- A…施策は非常に良好に進展している（事業概要・目標・計画以上に施策を実施している）
- B…施策は、良好に進展している（事業概要・目標・計画どおり施策を実施している）
- C…現状維持（一部事業概要・目標・計画どおり実施していないが、達成に向け努力している）
- D…施策がやや後退している（一部事業概要・目標・計画どおり実施していない）
- E…後退している（事業概要・目標・計画どおり実施していない）

令和6年度重点項目評価表（令和5年度実績）

氏名:

			5年度				6年度	
事業項目		事業概要	取組と実績	担当課評価	評価の内容	取組に対する今後の課題	計画及び目標	担当課
22	男女共同参画センター「フチャール」の運営	男女共同参画を推進する拠点施設である男女共同参画センター「フチャール」を運営し、学習・交流の機会と場を提供します。また、利用者を増やすため施設の周知を図ります。	継続して登録団体活動支援、講座の実施等を行い、来館者数増に努めた。また、情報資料室では、市民が学習や啓発に役立てるよう書籍や資料などの蔵書の充実に努めた。 センター来館者数 R5 39,318人(男性 13,363人) R4 35,412人(男性 11,158人) R3 26,163人(男性 8,733人) センター登録団体数 R5 90団体 R4 94団体 R3 108団体 センター施設利用率(年間) R5 36.0% R4 34.0% R3 26.6% 蔵書数 R5 8,007冊 R4 7,973冊 R3 7,942冊	3	昨年度との比較して、実績として来館者数や稼働率が増加しているため。	・来館者数は新型コロナウイルス感染拡大前の約9割ほどまで回復しており、また、男性の利用者の割合については、新型コロナウイルス感染拡大前の令和元年度では26.0%であったが、令和5年度は33.9%と増加傾向（前年度比2.4ポイント増）にあり、引き続き、性別にかかわらず、利用しやすい施設の運営に努める必要がある。 ・既存の資料・蔵書について、劣化や破損、時代に合わない内容のものがないかなど見直しを行い、必要に応じて除籍する必要がある。	・性別にかかわらず、利用しやすい施設の運営に努める。 ・その他、既存資料・蔵書の見直し、新規資料・書籍の収集を行う。 ・府中市のSNSツール等を活用し、施設に関する情報を発信する。	多様性社会推進課

【参考】昨年度回答

			4年度				5年度	
			取組と実績	担当課評価	評価の内容	取組に対する今後の課題	計画及び目標	
			継続して登録団体活動支援、講座の実施等を行い、来館者数増に努めた。また、情報資料室では、市民が学習や啓発に役立てるよう書籍や資料などの蔵書の充実に努めた。 センター来館者数 R4 35,412人(男性 11,158人) R3 26,163人(男性 8,733人) R2 18,872人(男性 6,770人) センター登録団体数 R4 94団体 R3 108団体 R2 113団体 センター施設利用率(年間) R4 34.0% R3 26.6% R2 21.0%	3	昨年度との比較して、実績として来館者数や稼働率が増加しているため。	・来館者数は新型コロナウイルス感染拡大前の約8割ほどまで回復しており、また、男性の利用者の割合については、新型コロナウイルス感染拡大前の令和元年度では26.0%であったが、令和4年度は31.5%と増加傾向にあり、引き続き、性別にかかわらず、利用しやすい施設の運営に努める必要がある。 ・既存の資料・蔵書について、劣化や破損、時代に合わない内容のものがないかなど見直しを行い、必要に応じて除籍する必要がある。	・性別にかかわらず、利用しやすい施設の運営に努める。 ・その他、既存資料・蔵書の見直し、新規資料・書籍の収集を行う。 ・府中市のSNSツール等を活用し、施設に関する情報を発信する。	

第三者 評価欄(A～E)	判定理由及び改善策等の提言

【第三者評価 基準】

- A…施策は非常に良好に進展している（事業概要・目標・計画以上に施策を実施している）
B…施策は、良好に進展している（事業概要・目標・計画どおり施策を実施している）
C…現状維持（一部事業概要・目標・計画どおり実施していないが、達成に向け努力している）
D…施策がやや後退している（一部事業概要・目標・計画どおり実施していない）
E…後退している（事業概要・目標・計画どおり実施していない）